

午後一時五十五分 開会

○大場議長「ただいまから新幹線問題対策等特別委員会を開きます。

委員会条例第七条第二項の規定によりまして、委員長互選に関する職務は年長の委員が行うことになっていきます。

出席委員中、留守茂幸委員が年長の委員ですので御紹介いたします。

○留守臨時委員長「私が、年長委員のゆえをもちまして、臨時委員長の職務を行います。何とぞよろしくお願いいたします。

○ 仮議席 指定

○留守臨時委員長「まず、仮議席を指定いたします。

仮議席は、ただいま御着席の議席を指定いたします。

○ 委員 長 選挙

○留守臨時委員長「これより委員長の互選を行います。

この際、お諮りいたします。

互選の方法につきましては、地方自治法第百十八条第二項の規定を準用し、指名推選の方法によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

「「異議なし」と呼ぶ者あり」

○留守臨時委員長「御異議なしと認めます。よって、委員長互選の方法は、指名推選の方法によることに決しました。

お諮りいたします。

指名の方法につきましては、臨時委員長において指名することにいたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

「「異議なし」と呼ぶ者あり」

○留守臨時委員長「御異議なしと認めます。よって、臨時委員長において指名することに決しました。

委員長に木原奉文委員を指名いたします。

ただいま臨時委員長において指名いたしました木原奉文委員を当選人と定めることに御異議ありませんか。

「「異議なし」と呼ぶ者あり」

○留守臨時委員長「御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました木原奉文委員が委員長に当選されました。

木原奉文委員が委員会室におられますので、会議規則第三十一条第二項の規定を準用し、委員長当選の告知をいたします。

木原奉文委員、委員長席にお着き願います。

○ 委員長 就任挨拶

○木原委員長「皆さん、お疲れ様でございます。代わり映えのない委員長でございますけれども、すばらしい委員の皆さん方に恵まれて、この新幹線、結構長い時間審議をしておりますが、今回しっかりと、深掘りした議論が進めばいいなとそういうふうに思っております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

○ 副 委員 長 選挙

○木原委員長「これより副委員長の互選を行います。

この際、お諮りいたします。

互選の方法につきましては、地方自治法第百十八条第二項の規定を準用し、指名推選の方法によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

「「異議なし」と呼ぶ者あり」

○木原委員長「御異議なしと認めます。よって、副委員長互選の方法は指名推選の方法によることに決しました。

お諮りいたします。

指名の方法につきましては、委員長において指名することにいたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○木原委員長「御異議なしと認めます。よって、委員長において指名することに決しました。」

副委員長に指山清範委員を指名いたします。

ただいま委員長において指名いたしました指山清範委員を副委員長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○木原委員長「御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました指山清範委員が副委員長に当選されました。」

指山清範委員が委員会室におられますので、会議規則第三十一条第二項の規定を準用し、副委員長当選の告知をいたします。

副委員長に当選された指山清範委員から挨拶があります。

○副委員長就任挨拶

○指山副委員長「皆さん、指山でございます。ただいま副委員長に御推挙いただきまして本当にありがとうございます。」

委員長の補佐役としてしっかりと努めてまいりたいと思いますので、委員各位、そして執行部の皆様方の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。御挨拶に変えます。よろしく願います。ありがとうございました。

○木原委員長「以上で正副委員長の互選を終了いたしました。」

○議席指定

○木原委員長「なお、議席は、会議規則第四条第一項の規定を準用し、委員長において指定いたします。」

議席は、ただいま御着席の議席を指定いたします。

○会議録署名者指名

○木原委員長「会議録署名者として石丸太郎委員、青木一功委員、藤崎輝樹委

員、中本正一委員、以上の四人を指名いたします。」

○理事選出

○木原委員長「次に、委員長から御連絡いたします。」

各会派より理事一名を選出の上、後刻委員長までお届け願います。

以上で新幹線問題対策等特別委員会を閉会いたします。どうも御苦勞さまでした。

午後二時二分 閉会

議事課記録担当会計年度任用職員

石丸宏子